

平成 30 年度 みやぎ環境交付金事業 (計画・実績) 概要書

市町村名 : 登米市

市民参加の新たな森林づくり事業

<事業目的>

森林は、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止するなど地球環境にとって大切な資源であり、次代へ継承するため「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」を実施した。

二酸化炭素の削減効果	630kg-co2
経済波及効果	1 百万円
その他	参加人数 228 名

<事業内容>

「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」として、身近な里山へ市民参加による針葉樹と広葉樹の植栽を行った。

- ①参加者 市民、みどりの少年団等 228 名 (春 : 70 名・秋 : 158 名)
- ②植林面積 0.75ha (春 : 0.45ha、秋 : 0.30ha)
- ③植樹内容 春 : 低花粉スギ 900 本を植栽した。  
秋 : ヤマザクラ 等 600 本の植栽とドングリ (コナラ等) の種まきを行った。
- ④開催内容 市民参加による針葉樹や広葉樹の植樹を実施した。植樹活動終了後、環境教育の推進を図るため、エコ戦隊ショー (春) 及びグリーンコンサート (秋) を開催した。  
みやぎ環境交付金対象事業費は、記念品・標柱代・出演料とした。
- ⑤実施時期 春 : 平成 30 年 5 月 20 日  
秋 : 平成 30 年 11 月 7 日

<その他>

市民参加による植樹活動を行うことにより、二酸化炭素吸収源としての森林機能の強化はもちろんのこと、木々の成長とともに、登米市も市民も成長し、歴史を刻んでいくことや市民が自然環境に直接ふれあうことにより、森林に親しみをもつこと、環境を大切にする意識の向上を図ることができた。



平成 30 年度春の植樹祭の様子

※平成 24 年度から平成 30 年度までの事業実績

- 植林面積 … 春 : 2.97ha (針葉樹 1.74ha・広葉樹 1.23ha)、秋 : 2.00ha (広葉樹のみ)
- 植樹内容 … 春 : 針葉樹 (低花粉スギ) 3,480 本、広葉樹 (ヤマザクラ等) 2,460 本  
秋 : 広葉樹 (ヤマザクラ等) 4,000 本及びドングリ (コナラ等) 5,300 個